

第 69 回全日本馬場馬術大会 2017 Part I 実施要項

主催：公益社団法人 日本馬術連盟

運営：馬場馬術本部実行委員会

1. 期 日 平成 29 年 11 月 10 日（金）～12 日（日）

2. 会 場 御殿場市馬術・スポーツセンター
静岡県御殿場市仁杉 1415-1

3. 競技種目および実施課目

第 1 競技 グランプリ馬場馬術競技（予選）

①FEI グランプリ馬場馬術課目 2009

※ 第 1 競技①において 58%以上の最終得点率を獲得した人馬のうち、上位 15 人馬（第 15 位で同率の人馬含む）が、第 1 競技②に出場できる。

②FEI グランプリスペシャル馬場馬術課目 2009

※ 第 1 競技①と②における合計得点率の上位 10 名（第 10 位で同率の選手含む）が、第 7 競技に出場できる。

※ 第 7 競技に 2 頭で出場権を得た選手は、出場馬 1 頭を宣言しなければいけない。

第 2 競技 インターメディエイト I 馬場馬術競技（予選）

FEI インターメディエイト I 馬場馬術課目 2009

※ 第 12 位までの人馬（第 12 位で同率の人馬を含む）が第 8 競技に出場できる。

第 3 競技 セントジョージクラス馬場馬術競技（予選）

FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009

※ 第 15 位までの人馬（第 15 位で同率の人馬を含む）が第 9 競技に出場できる。

第 4 競技 S クラス馬場馬術競技（予選）

JEF 馬場馬術競技 S1 課目 2013

※ 第 15 位までの人馬（第 15 位で同率の人馬を含む）が第 10 競技に出場できる。

第 5 競技 M クラス馬場馬術競技（予選）

JEF 馬場馬術競技 M1 課目 2013

※ 第 15 位までの人馬（第 15 位で同率の人馬を含む）が第 11 競技に出場できる。

第 6 競技 L クラス馬場馬術競技（予選）

JEF 馬場馬術競技 L1 課目 2013

※ 第 15 位までの人馬（第 15 位で同率の人馬を含む）が第 12 競技に出場できる。

第7競技 全日本馬場馬術選手権

FEI 自由演技グランプリ馬場馬術課目 2009

- ※ 第1競技で出場資格を得た10名（第10位で同率の選手含む）が出場できる。
- ※ 本競技の最終得点率により、順位を決定する。

第8競技 インターメディエイトI馬場馬術競技【決勝】

FEI 自由演技インターメディエイトI馬場馬術課目 2009

- ※ 第2競技で出場資格を得た人馬が出場できる。

第9競技 セントジョージクラス馬場馬術競技【決勝】

FEI 自由演技国体成年馬場馬術課目 2009

- ※ 第3競技で出場資格を得た人馬が出場できる。

第10競技 Sクラス馬場馬術競技【決勝】

JEF 馬場馬術競技 S2 課目 2013

- ※ 第4競技で出場資格を得た人馬が出場できる。

第11競技 Mクラス馬場馬術競技【決勝】

JEF 馬場馬術競技 M2 課目 2013

- ※ 第5競技で出場資格を得た人馬が出場できる。

第12競技 Lクラス馬場馬術競技【決勝】

JEF 馬場馬術競技 L2 課目 2013

- ※ 第6競技で出場資格を得た人馬が出場できる。

4. 出場順

- (1) 第1競技①の出場順は、インスペクション（11/9 予定）終了後に行う抽選により決定する。
- (2) 第1競技②の出場順は、第1競技①（11/10 予定）の成績のリバースオーダーを基に、5名ずつのグループに分けて大会実行委員会が抽選により決定する。ただし、本項（6）を適用する場合がある。
- (3) 第7競技の出場順は、第1競技①と②の合計得点率のリバースオーダーを基に、5名ずつのグループに分けて大会実行委員会が抽選により決定する。ただし、本項（6）を適用する場合がある。
- (4) 第2、3、4、5、6競技の出場順は、本大会実行委員会が抽選により決定する。
- (5) 第8、9、10、11、12競技の出場順は、各予選競技の結果のリバースオーダーを基本とする。
- (6) 選手あるいは馬匹の出場時間帯の重複を避けるために、出場順を調整する場合がある。

5. 参加資格

- (1) 選手は、参加申し込み時において日本馬術連盟の登録会員で、かつ日本馬術連盟騎乗者資格 B 級以上の取得者であること。
- (2) 馬匹は、参加申し込み時において日本馬術連盟の登録馬であること。
- (3) 日本馬術連盟が特に認めた者。
- (4) 日本馬術連盟の登録会員でない団体は、所属の名称として使用できない。

6. 参加条件

- (1) 同一人馬の出場は1種目のみとし、馬は選手を替えて2種目まで出場できる。
ただし、第1競技に出場する馬は、他の競技に重複して出場することはできない。
- (2) 同一種目への出場は、1選手2頭を限度とする。
- (3) 異なる選手が騎乗する場合でも、馬の出場は同一種目1回限りとする。
- (4) **平成28年9月26日から平成29年9月24日**までの公認競技会における人馬ランキングに基づき、以下に示す数の上位人馬コンビネーションに出場権を与える。なお、出場辞退があった場合は、参加条件を満たす範囲で順次繰り上げる。

【競技別出場枠数】

競技名	出場枠数
第1競技 グランプリクラス	20
第2競技 インターメディアイトIクラス	20
第3競技 セントジョージクラス	30
第4競技 Sクラス	25
第5競技 Mクラス	25
第6競技 Lクラス	25

- (5) 参加申し込みする人馬のコンビネーションは、ポイント集計対象期間内の公認競技会において、対象クラスの予選競技で使用する課目（第1競技についてはFEI グランプリ馬場馬術課目2009）で58%以上の成績を1回以上獲得していること。
- (6) 第4、5、6競技については上記(5)に加えて、参加申し込みする人馬のコンビネーションは、ポイント集計対象期間内の日本馬術連盟主催・公認競技会（ただし、全日本馬場馬術大会を除く）において、対象クラスの決勝競技で使用する課目の出場実績があり、順位が与えられていること。
- (7) 申し込み時点でナショナルチームメンバーに認定されている選手は、日本馬術連盟競技会規程第29版第118条に基づき、推薦枠によりグランプリクラス（第1競技および第7競技）に限り出場することができる。
- (8) その他の事項は、日本馬術連盟競技会規程による。

7. 競技会規程

日本馬術連盟競技会規程第29版、日本馬術連盟獣医規程による。

8. 参加料

- (1) 選手参加料
第1競技
ナショナルチーム認定選手 12,000円/1人馬
その他選手 25,000円/1人馬
第2～6競技 ナショナルチーム認定選手 12,000円/1人馬
その他選手 17,000円/1人馬
第7競技（現地納入） 10,000円/1人馬
第8～12競技（現地納入） 10,000円/1人馬
※ 参加料の内、1競技あたり2,000円を任意のオリンピック協賛金とする。
- (2) 馬匹参加料
ランキングにより出場権を獲得した馬匹 15,000円/1頭
本部推薦馬（第1競技） 80,000円/1頭
- (3) 振込先 三井住友銀行 日本橋東支店 普通
(口座番号) 7473283 (名義) 馬場馬術本部実行委員会

※ 参加料の納入は、**銀行振込のみ**とする（振込み以外は受け付けない）

※ 一度納入した参加料は、競技に出場しない場合でも返却しない。

ただし、主催者側の都合により競技を取りやめた場合は、この限りではない。

9. 申込方法および締切

- (1) 参加申込は、資格人馬発表よりオンラインあるいは郵送で受け付けし、**平成 29 年 10 月 5 日 (木)** 到着分までとする。
- (2) 申込に不備等がある場合は、出場を認めない場合がある。
- (3) 第 7、8、9、10、11、12 競技への申込みは、予選競技の成績発表後直ちに行うものとする。

10. 宿 泊

- (1) 選手および選手関係者の宿泊は各自手配すること。
- (2) 厩舎地区は禁煙とし、会場内とその周辺でのテント設営、自炊、火気の使用は認めない。
- (3) 1 団体につき 1 名まで、馬取扱人(ただし、男子に限る)は会場内の仮眠所を利用することができる。希望者は、御殿場市馬術・スポーツセンター (TEL : 0550-80-4150) まで各自で申し込み、宿泊料 (1,020 円 / 1 泊 <税込>) を負担のこと。また、寝具は各自で用意のこと。

11. 参加馬の入厩および退厩

- (1) 滞在できる期間は、平成 29 年 11 月 8 日(水)~12 日(日)とする。
- (2) 入厩時間は、**11 月 8 日(水) 8:00~17:00** および **11 月 9 日(木) 8:00~12:00** とする。申込時に到着予定時刻を申告すること。入厩当日に時間外の到着となる場合は、大会実行委員会まで事前に報告すること。
- (3) 競技開催中は、馬運車の移動はできない。
- (4) 入厩は、大会実行委員会の指示に従って馬運車の移動を行い、会場に到着後、速やかに乗馬登録証および馬の健康手帳を大会本部に提出すること。その際、馬番号(個体識別番号)を配布する。
- (5) 参加馬は、到着時に主催者から提供される馬番号を、競技の間を通じて装着していなければならない。

12. 馬糧・敷料

- (1) 馬糧は、各自が持参し退厩の際は全て持ち帰ること。
- (2) 敷料は、木材チップのみとし、実行委員会が手配する。

13. 馬の防疫

- (1) 下記の事項が記載された馬の健康手帳を携行すること。
 - ①入厩日の 5 年前の 1 月 1 日以降の馬伝染性貧血検査の陰性証明。
 - ②馬インフルエンザの予防接種を以下の要領で実施し、その接種証明。
 - ・基礎接種として初回ワクチン接種を実施してから 21 日以上・2 ヶ月以内に 2 回目のワクチン接種を行い、その後、7 ヶ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は 1 年以内に継続的に補強接種を受けていなければならない。
 - ・競技場に入厩する 6 ヶ月+21 日以内に補強接種 (または基礎接種の 2 回目) を受けていなければならない。ただし、競技場へ入厩する前 1 週間以内のワクチン接種は接種歴として認められない。
 - ・2008 年 3 月 31 日以前に基礎接種を完了している馬については、基礎接種の後の最初の補強接種は 1 年以内であれば可とする。
- (2) 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前 1 週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師に検査を依頼すること。
- (3) 馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒すること。
- (4) 入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中 (3 ヶ月) の馬匹は出場できない。
- (5) 上記が守れない場合や申込書類に不備がある場合は、入厩を認めない。

14. ホースインスペクション

- (1) 第 1 競技の出場馬を対象として、**11 月 9 日 (木) 15:00** より実施予定。
- (2) インスペクションにて馬を曳く者は、正装 (ジャケット・タイ等) して参加すること。

15. ドーピング検査

- (1) 本大会に参加する全ての人馬を対象として、規程に則りドーピング検査を行う予定である。
- (2) 馬の管理責任者は、競技会での馬の騎乗者（競技者）とし、厩舎地区の保安管理の如何を問わず、自らの管理責任と薬物検査の結果に対する責任を免れることはできない。

16. 打合せ会

- (1) 平成 29 年 11 月 9 日（木）13:00 から会場内にて行う。
- (2) 参加団体の代表者 1 名は必ず出席すること(代理出席を認める)。
- (3) 打合わせ会で承認あるいは確認された事項を優先する。

17. 表彰式

- (1) 表彰式の日程は、別途連絡する。
- (2) 表彰式には原則として選手が正装で参加すること。正当な理由なく参加しない場合は入賞の資格を失う。なお、選手が参加できない場合は代理を可とするが、その場合も正装で参加すること。

18. 褒 賞

- (1) すべての競技と実施課目で表彰を行う。
- (2) 第 1 競技①・②、第 2、3、4、5、6 競技は、第 1 位の選手に賞杯を贈り、上位 1/4 までに馬リボンを贈る。ただし、出場人馬が 20 組以下の場合、5 位までを入賞とする。
- (3) 第 7 競技（選手権競技）、第 10 位までを入賞とし、第 1 位から第 3 位までの選手に賞状・メダル・厩舎掛けを贈る。また、入賞者に馬リボンを贈る。
- (4) 第 8、9、10、11、12 競技は、第 5 位までを入賞とし、第 1 位から第 3 位までの選手にメダル、賞状を贈る。また、入賞者に馬リボンを贈る。
- (5) 選手権競技および決勝競技の優勝者の賞典は下記による。
 - ・ 第 7 競技 全日本馬場馬術選手権
 - 日本馬術連盟会長賞（チャレンジ）
 - 三笠宮杯（チャレンジ）
 - フランツ・クラブ大使賞（チャレンジ）
 - 遊佐賞（賞状）
 - 日本中央競馬会賞（賞状・トロフィー）
 - 地方競馬全国協会賞（賞状）
 - ・ 第 9 競技 セントジョージクラス(決勝)
 - 中村慶蔵賞(賞状)
- (6) 入賞した馬匹の所有者に対し、下記の通り飼育奨励金を支給する。支払いは銀行振り込みとし、馬匹所有者は、表彰式終了後に振込先通知書類を大会本部宛に提出すること。なお、この飼育奨励金は、表彰を受けた者の雑所得となるため、収入に上げる必要があり、申告の対象となる。

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	第 6 位	合計
第 7 競技	120,000	90,000	60,000	45,000	30,000	15,000	360,000
第 8 競技	100,000	75,000	50,000	35,000	20,000	-	280,000
第 9 競技	100,000	75,000	50,000	35,000	20,000	-	280,000

19. 自由演技課目に使用する音楽 CD

- (1) 自由演技課目に使用する音楽 CD については、録音利用明細書（一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本音楽著作権協会 共通様式）を大会主催者に提出する。オリジナル曲の場合も必ず提出する。なお、録音利用明細書については、当連盟ホームページからダウンロードする。
- (2) 録音利用明細書については、自由演技（第7、第8、第9競技）に出場を考えている選手は、大会の申し込み時に、参加申込書と併せて提出する。
- (3) 音楽 CDについては、大会会場において、主催者に提出する。また、音楽 CD には選手名、馬匹名、種目名を明記し、バックアップ 1 枚を含む計 2 枚を提出すること。
- (4) CD 作成にあたっては、使用する楽曲のみを保存し、入場曲付きとすること。使用媒体は CD のみとし、MD カセットテープ等は不可とする。

20. その他

- (1) 場内で、競技に差し障りのない場所を選定し、報道関係者等による写真・ビデオ撮影を行う。
- (2) 資格を誤って申し込んだ場合は出場を認めない。また、競技期間中に発見された場合は失格とし、以後実施される競技には出場できない。
- (3) 選手は、会員証、乗馬登録証、馬の健康手帳および健康保険証（またはそれに代わるもの）を持参すること。
- (4) 選手は何らかの傷害保険に加入していること。
- (5) 事故のないように十分注意すること。万一の場合、応急処置は講ずるが大会実行委員会および主催者はその責を負わない。
- (6) 一般観覧者に対して事故のないよう十分注意すること。
- (7) 競技場周辺あるいは練習馬場等において事故のないよう細心の注意を払うこと。
- (8) 厩舎地区およびその周辺地区は各参加団体の自主管理とし、貴重品の管理には十分注意すること。
- (9) 厩舎地区およびその周辺は火気厳禁とする。
- (10) 清掃は各団体で協力して行い、ゴミは各団体で持ち帰ること。
- (11) 競技会場が定める遵守事項および打ち合わせ会における注意事項を厳守すること。
- (12) 一般車および馬運車の駐車は、大会実行委員会の指示に従うこと。厩舎地区は全面駐車禁止とし、車両は定められた駐車場を利用すること。
- (13) 大会実行委員会からの注意勧告に対して、改善の見られない団体に対しては失格とする場合がある。
- (14) 選手および関係者はメディカルカードを常に携行すること。
- (15) 日本馬術連盟ウェブサイトに掲載の案内に注意すること。